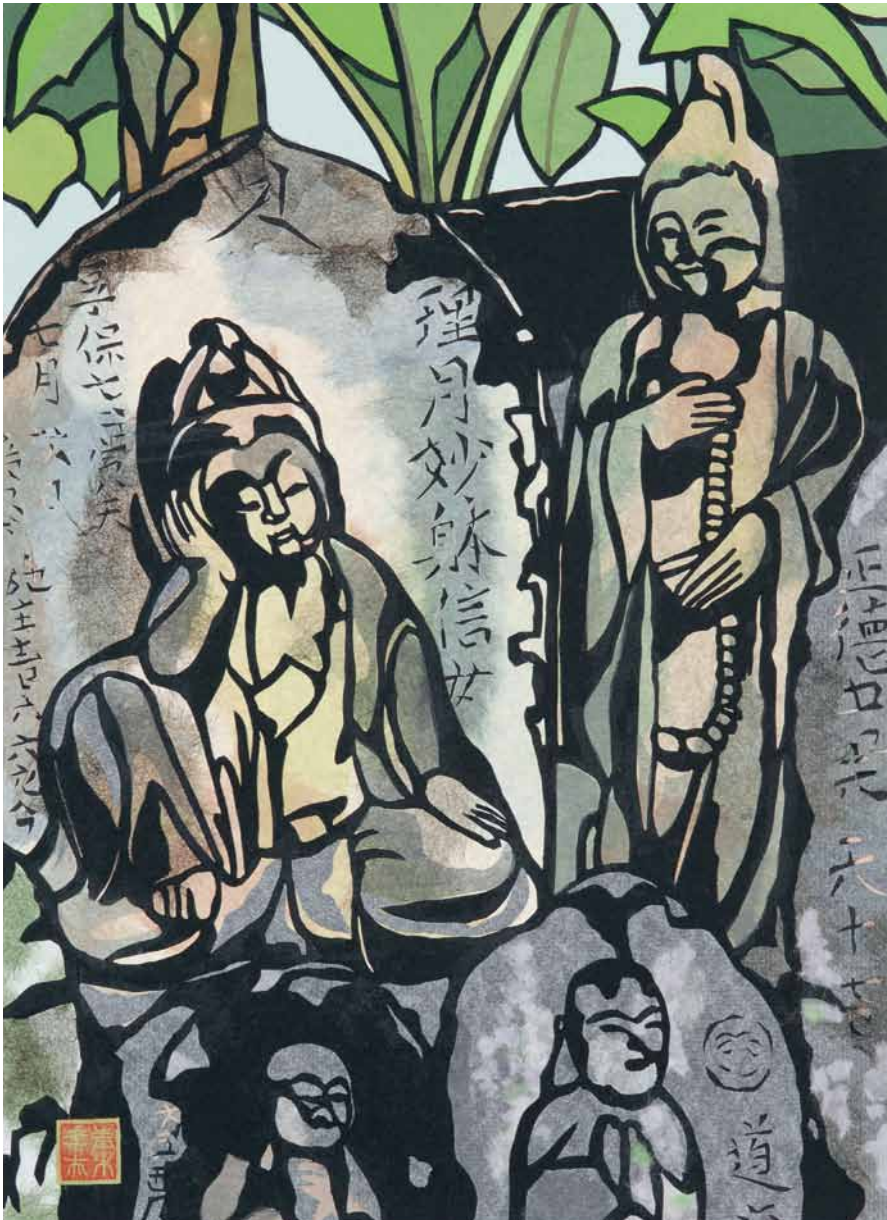


Stage Up

ステージ・アップ
通巻 No.192
2013年6月1日
(隔月発行)

ホームページからも
ご覧いただけます!



切り絵シリーズ「川崎にある風景から」②

「能満寺石仏群から」(高津区千年) 青木幸夫

もくじ

- 2 まち・ひと・多面体
- 3 シニアのパレット
- 4 特集
- 「川崎市内に根づく民俗芸能」
- 6 施設めぐり
- 7 情報ポケット

誌
上
ギ
ャ
ラ
リ
ー

高津区新作にある市民プラザの裏手に約5km続く「たちばなの散歩道」、能満寺はその小径にある天台宗の古刹(ごきつ)です。本堂の左手を見るとバナナの木を背景にした石仏群が目に残ります。

これまでも各地の石仏を切り絵にしてみました。特にこのお寺の石仏群の一つひとつのお姿に心が惹(ひ)かれました。何度もお訪ねして観察し、切り絵作品にしました。

※このシリーズでは、独学で趣味の切り絵制作を続けている作者が、川崎にちなんだテーマで制作した作品を掲載しています。



発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1
TEL 044(733)5560(代) / FAX 044(739)0085

<http://www.kpal.or.jp/>
E-メール: stage-up@kpal.or.jp



当財団は市民の主体的な学びと活動を支援するための諸事業を推進しています。

まち・ひと・多面体

なかはら楽習会 ～中原区地域教育会議の取組から～



学校教育と社会教育の連携を目指した川崎市の取組“地域教育会議”は7行政区と51中学校区に置かれています(Stage Up No.181で特集)。

地域教育会議の活動趣旨の一つは住民の生涯学習、中原区地域教育会議が2か月に1度行っている“なかはら楽習会”という取組に惹(ひ)かれて、中原市民館で行われた第15回『地域の教育力を高める』、第16回『図書館の今?!』を取材しました。

地域の教育力を高める

初めに中原区地域教育会議議長の竹井斎(ひとし)さんから活動の趣旨説明と講師の紹介がありました。この日の講話は前教育長の金井則夫さん。前段は趣味のバイクの話、美術科教員としての思い、菅生中学校長時代に出会った地域の人たちとの交流等について笑顔で語られました。後段では『かわさき教育プラン』にある重点施策の中から『地域の学校を創る』『共に学び、楽しみ、活動する生涯学習社会を創る』について配布資料とともにパワーポイントも使って具体的に分かりやすく紹介してくださいました。特に、新しい街づくりの進む中原区において「子どもたちを必要とすることの大切さ」につい



て力説されました。地域教育会議の存在意義にも結びつく大切な指摘だと思いました。

図書館の今?! 新中原図書館



田辺浩嗣館長を講師とした“楽習”はまず市立図書館の歴史から。昭和20年の空襲で蔵書の全てが焼失したものの、その後着実に増え続け、利用者も年々増加の一途をたどっています。貸出システムも図書カードからコンピュータシステムの導入へと移行したとのことです。

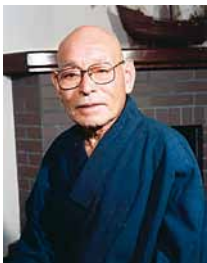
小杉駅前エクラストワー5・6階に移転した新中原図書館は旧館に比べて床面積や蔵書数が大幅に増え、中央図書館機能を備えて新たなスタートを切りました。好アクセス、市民活動・生涯学習支援、だれもが使いやすい図書館など6つのコンセプトの下に整備されているそうです。この日の参加者の関心は高く、活発な質疑で盛り上がりしました。

ユニークで貴重な“なかはら楽習会”、地域住民や中学校区地域教育会議との連携を軸に、取り組みの輪がさらに広がることを心から期待したいと思いました。

■問合せ：中原市民館社会教育振興係 TEL 044-433-7773

ある郷土史家の歩みから

～上田恒三氏が遺したもの～



平成24年7月、大山街道ふるさと館で「ある郷土史家のみたふるさと溝口」という企画展があり、故上田恒三さんがふるさと館に寄贈された500点を超える史料の一部が展示・解説されていました。改めて上田さんの足跡、大山街道ふるさと館の取組をご紹介します。(上田さんの取組についてはStage Up No.116 2002年12月号の「特集」で詳解しています。)

大山街道ふるさと館
の企画展を通して

今回の企画展では写真家小池汪(おう)氏の監修による写真の展示、文書を監修した専修大学新井勝紘教授の講演等がありました。世界に類を見ない我が国の土地台帳の基礎となった明治時代の地租改正、それに果たした市井の人たちの役割など、上田さんの蒐集(しゅうしゅう)した古文書にはその裏付けとなる貴重なものが多く含まれているようです。検地に関する史料や八王子・横浜間馬車道測量官員出張史料のほか、橋樹郡下作延村の芝居興行願、高津小学校生徒人数御届、小学校費用助成下渡しの通達等、貴重な史料を直に目にすることができました。

出征、シベリア抑留という苦労を経験して帰ってきた溝口の変化に思うところがあり、上田さんは戦後の混乱の中で失われつつある年中行事や文化遺産を守りたいとの一心から、独学で古文書に取り組み、蒐集しました。上田さんは川崎市役所定年退職の年に「高津村風土記稿」



新井勝紘専大教授



小学校生徒人数御届

を著し、その後も貴重な書物や写真を出版・公開してきました。

平成8年に、これまで集めた膨大な史料を大山街道ふるさと館に寄贈された上田



上田史料に見入る人たち

さんは、同13年、半世紀にわたる郷土史研究、民俗資料保存等の功績によって川崎市文化賞を受賞、同21年89歳で逝去されました。

大山街道ふるさと館では、川崎市公文書館等の協力を得て上田さんが寄贈された史料を整理し、写真にしてデータ化する作業を進めています。様々な形でふるさとの歴史・文化を発信する大山街道ふるさと館の次の企画展も楽しみです。

■問合せ：大山街道ふるさと館 TEL 044-813-4705

十七音に心をこめて

—高津俳句大会の取組を通して—

昨年11月、高津区制40周年「歴史と文化の香るまち」記念“第5回高津俳句大会”が行われました。高津市民館大会議室は満員。参加者の熱気に満ちた取り組みには感心させられ、また、深い感動を味わいました。市内には俳句や短歌に親しむ活動がたくさんあります。今回は市民に根づいた俳句の活動をご紹介します。

全国各地から1,000句に近い投句



高津区文化協会(会長:鈴木穆(あつし)氏)が俳句大会に取り組んで5年目、会を重ねるごとに活発になり、多くの句が寄せられています。昨年は区制40周年を迎えた「歴史と文化の香るまち」高津にちなんで、ふるさとの自然と歴史や文化を詠んだ作品も募集したところ、市内はもちろん、北海道、新潟、群馬など各地から292人、計966句もの俳句が寄せられたそうです。

石寒太氏と金原亭馬生師匠が対談

この日は俳誌「炎環(えんかん)」の主宰者でNHK俳句教室や毎日文化センター俳句教室講師等でも知られる俳人の石寒太さんと、炎環同人で「馬生句会」の主宰者でもある落語家、第11代金原亭馬生師匠の対談もありました。



発句、俳諧と呼ばれていた俳句の歴史、そして落語の歴史、そこに共通して流れる日本人の笑い…「笑う門には福来る」と言われた文化風土などについてユーモアたっぷり、含蓄のある対談でした。無駄を削ぎ落とした言葉で多くを語り、季節感を大切に「俳句はキレ、落語は絶妙の間合い」という俳句と落語の共通性についても、なるほどどうなずかされました。

当日のプログラムで紹介されていた

落語名人の一句から

- 丸髻で帰る女房に除夜の鐘 5代 古今亭志ん生
慌ただしい晦日の仕事を終え、新年に向け髻を結って帰宅した女房の姿に除夜の鐘の音が重なって……
- 親子酒終えて谷中の曼珠沙華 10代 金原亭馬生
親子酒は吞兵衛親子を描いた爆笑落語。講座の余韻を残しながら谷中の道を歩く馬生師の目に……
- 枯葉舞ふ亡き師の好きなバーバリー 11代 金原亭馬生
先代師匠への深い思いがにじむ句

日々の取組から…高津萌(もえ)句会を訪ねて

俳句愛好の皆さんは、日々どのような活動をしているのでしょうか。大会事務局担当でもあるたむら葉(俳号)さんが、主宰する高津萌句会を訪ねました。

この日の参加者は19人、市内のみならず日頃から熱心に句作に親しんでいる人たちの集まりです。



この日の兼題(句会であらかじめ出しておく句題)

は山茶花・冬林檎などでそれぞれが持ち寄った句を、作者名を伏せてプリントし、秀句として印象に残った句を互いに推薦し、合評します。インストラクター役の市ノ瀬遥氏らの寸評をもとに1語、1音を置き換えるなど工夫することによって句の世界が深まり、広がっていくことに感嘆しました。こうした訓練・修業の積み重ねが参加者の感性をさらに磨くのでしょう。



尊く充実した時間を共有している人たちに接し、うらやましく思いました。こうした活動は市内各所で熱心に取り組まれているようです。

高津俳句大会入賞作品紹介

高津俳句大会では前述した対談の後、入選作品の披講(ひこう:俳句の読み上げ)と石寒太氏による講評がありました。入賞作7句をご紹介します。

- 〈川崎市教育委員会賞〉
- 蓮の実のとんで御巢鷹山のを 藤岡市 武田 漣
〈高津区長賞〉
- 曼珠沙華のかなたかの子の小学校 川崎市 たむら葉
〈高津市民館長賞〉
- 若鮎の跳ねたる水の傷みけり 川崎市 植竹春子
〈高津観光協会会長賞〉
- 万華鏡のごとくポンポンダリアかな 川崎市 石関武之
〈高津区文化協会長賞〉
- 入院の準備ととのへ門火焚く 横浜市 鈴木友寄枝
〈大山街道ふるさと館長賞〉
- 三つ目の故郷に見し盆の月 所沢市 三橋瑞枝
〈高津俳句大会特別賞〉
- 子と呼ばばこだまとなりし雪解川 志木市 中川志津子

ジュニア俳句作品も

選者の石寒太氏は作品集の中で「ここにきて学校でも地域でも美しい日本語を子どもたちに伝えようという動きが急激に増えつつある」と書いています。作品集には「未来を担う子ども俳句」として125句が掲載されていました。その中の一句をご紹介します。久地梅林の歴史を踏まえた句です。

- 吉宗の梅林の中初夏の風 川崎市 石井杏奈 小6

—25年度の案内—

第6回高津俳句大会は今年11月10日(日)に行われます。6月20日ごろには投句募集の要領等が配布されること。募集リーフレットご希望の方は下記へ!

■問合せ: 高津区文化協会(田村) TEL 090-9314-1430

特集

川崎市内に根づく民俗芸能

うた ま かな しよみん
 一唄い、舞い、奏でてつなぐ庶民の心

川崎市には古くから伝わり、今も大切に残され、そして、未来に引き継ごうと熱心に取り組まれている民俗芸能がたくさんあります。川崎市民俗芸能発表会や川崎民俗芸能フェスティバルを通して、また、各地の祭りなどの催(もよお)しを通して出会った民俗芸能の中から、いくつかをご紹介します。



子どもたちのお囃子演奏
 (多摩区宿河原 宿之鳥囃子保存会 多摩区民祭にて)

第34回 川崎市民俗芸能発表会から



平成24年3月、麻生市民館で行われた第34回川崎市民俗芸能発表会には、横浜から招かれた市場(いちば)神代郷神楽(かぐら)と市内からエントリーした11団体が伝統芸能を披露(ひろ)うしました。この会は毎年各行政区の会場を持ち回りして取り組まれている川崎市民俗芸能保存協会主催の一大イベントです。前回は開催直前に大震災があった中止しましたが、今回は被災地の復興と平和を祈る心のこもった大会になりました。その一部を紹介します。



保存協会会長矢澤博孝氏の挨拶、阿部孝夫市長の祝辞等の後、第1番に登場したのは**宮内祭囃子(まつりばやし)保存会**。太鼓・笛・鉦(かね)の力強い演奏によって舞う宮内祭囃子は150年の歴史を誇る芸能です。往時の村の風景を彷彿(ほうふつ)とさせる演奏は実に力強いもの。日ごろの練習は芸を裏切りません。代表の山田さんは82歳の今日まで、戦後65年間この祭囃子にかかわってきたとか。幕開けにふさわしい舞台でした。

次は一転、正装の男女12人が登場。多摩区生田の**五反田節保存会**の「三重婿贅嫁贅高砂」(みつかさね おむこさん およめさん たかさご)です。のびやかでゆったりとした謡(うた)は武蔵の国稲毛領主稲毛三郎が源頼朝の妻政子の妹元子を妻に迎えたときに鎌倉から来た付き人が謡ったものとか。今も地元では婚礼や棟上(むねあげ、じょうとう)式の際に披露されることがあるそうです。



高津区にある**千年(ちとせ)神社囃子保存会**の「えびす鯛(うなぎ)つり」はユニークな無言劇(げんご)でした。えびす様から鯛を釣るように命じられた二人の**もどき**(主役を相手に滑稽を演ずる役)がてこずった末に大きな鯛を釣り上げるという物語。5人の囃子方の演奏に乗って、平和でのどかな時代の空気が舞台上をゆるやかに流れていました。



登戸古民謡保存会は、昭和39年、登戸台南地区が新嘗祭(にいなめさい)の献穀田(けんこくでん)に選ばれた際にたった一人の伝承者だった故原滝造さんが披露した田植え唄(いねうた)を地元の古民謡として保存するべく努めています。披露された「登戸田植え唄・焼き米つき唄」は哀調(あゐてい)をおびた美しい唄(うた)でした。江戸・明治の時代、農村地帯の遙か遠くまで響き渡ったことでしょう。



「有馬大正踊り八木節」の始まりは大正初期と言われています。当時全盛を極めていた八木節を習い覚えた若者たちが畑仕事の合間に演じたそうです。村人たちは村娘の長襦袢(ながじゆばん)を着るなどして有馬独自の八木節として作り上げ、**有馬大正踊り八木節保存会**の人たちによって守り伝えられています。

中原区上小田中地区の**神地(ごうじ)祭囃子保存会**が演じたのは「祭礼囃子奥伝」。明治・大正・昭和中期まで盛んに演じられていたお囃子を、平成3年、他村の名人の指導を仰ぐなどして約35年ぶりに復活させたものとのこと。その演奏は見事なもの、5人の囃し方の一糸乱れぬ洗練された演奏に聞きほれました。



各種文化財指定団体・・・市内には県・市によって文化財として指定された団体がいくつもあります。

新城郷土芸能囃子曲持保存会 (川崎市指定文化財)
 …この会の活動については、Stage-UpNo.178 2011年2月号で詳しくご紹介しました。

お囃子の演奏とともに、重い米俵(こめいり)を頭上高く持ち上げたり、枡(ます)や箱(はこ)で受け止めたり、腹の上に乗せた臼(うす)の餅(もち)を突く腹餅(はらもち)などの力持ち・曲持ち(まがもち)の芸能は、農民文化に根ざした豊かな地域芸能として親しまれています。毎年10月第1土・日曜日に行われる新城神社“秋の例大祭”などで披露されています。



初山獅子舞保存会 (神奈川県指定無形民俗文化財)

市内では多摩区菅(すげ)、幸区小向(こむかい)と、宮前区初山の3か所で獅子舞が継承されています。初山の獅子舞は江戸時代初期には舞われていたといわれます。今も地元の未成年者が代々伝承しており、平成13年**小向獅子舞・菅獅子舞**とともに県の無形文化財に指定されました。

初山の獅子舞は毎年10月最初の日曜日、近隣の鎮守(ちんしゆ)が合祀(ごうし)されている菅生神社の例大祭で舞われます。その前夜には地元の初山会館でも披露されました。夜の獅子舞は幻想的、昼の獅子舞は華やかでした。4人の舞手は高校1年生、菅生中学校1年生の時に先輩から引き継いで4年目になります。堂々としていて立派な舞いでした。熱心な先輩たちの指導の下、伝統芸能は脈々と受け継がれています。



川崎沖繩芸能研究会 (神奈川県指定無形民俗文化財)

戦後米国の支配下となった故郷の民俗芸能の行く末を案じた川崎在住の沖縄出身の人々が、昭和25年、この研究会を立ち上げました。研究会という名称に「民族の貴重な伝統芸術を継承していくのだ」という強い思いを込めています。

昨年5月、川崎区中島にある川崎沖繩労働文化会館を訪ねました。この日、総会後に懇親会が開かれました。現在、研究会の会員は400人ほど、そのうち沖縄出身者は20~30%、昨今、沖縄音楽・芸能への関心が高まり“本土”の人の参加が増えています。懇親会では舞踊が披露されました。三線(さんしん)・太鼓・横笛と歌のゆったりとした曲をバックに舞う姿には品格が漂っており、その魅力にひきつけられました。毎年10月には教育文化会館で**沖縄芸能大会**が開かれています。



第10回 川崎民俗芸能フェスティバルから

川崎民俗芸能フェスティバルは毎年10月、川崎アゼリアのサンライต์広場で開かれています。24年度は**稲毛神社山王囃子保存会・菅獅子舞保存会・諏訪神社祭囃子保存会**の3団体が伝統の芸能を披露しました。

オープニングの稲毛神社山王囃子保存会の将来を担う子どもたちのお囃子の後、大人に引き継がれて力強い「**居囃子**」の演奏。伝統芸能は大切に守られています。「**菅の獅子舞**」は県指定無形民俗文化財。舞手は中高校生、笛の合奏は小中学生でした。3.5kgほどある獅子頭をかぶって舞うには大変な稽古(げいこ)の裏付けが必要(ひつぎ)なことでしょう。



最後に登場したのは高津区の諏訪神社で伝承されている**祭囃子保存会**の皆さん。細やかな技法(ぎてい)で奏(そう)でる笛(ふえ)と力強い太鼓(たいこ)が見事に調和(てんわ)し、お二人の舞手(まいで)の所作(しんさく)も見事(みごと)でした。アゼリアを通行(ていこう)する人(ひと)たちも思わず足(あし)を止(と)めていました。



民俗芸能いろいろ ~多文化共生のまち川崎ならではの取組~

様々な民族の芸能活動があり、若い世代へのバトンタッチを願いつつ活発な活動を続けています。また、在住外国人も母国の民俗芸能を大切に受け継ぎ、様々な機会に披露しています。**コリア文化サークル“パランセク(青い色)”**は民族楽器や舞踊などに取り組んでおり、韓国朝鮮人と日本人がともに活動しています。毎年7月第1日曜日に国際交流センターで開かれている**インターナショナルフェスティバル**や秋の**かわさき市民まつり**では、世界の国々の民俗芸能にふれることができます。



左写真: スコットランドパグパイプの演奏

民俗芸能保存協会所属団体のほかにも、市内には様々な民族の芸能活動があり、若い世代へのバトンタッチを願いつつ活発な活動を続けています。また、在住外国人も母国の民俗芸能を大切に受け継ぎ、様々な機会に披露しています。**コリア文化サークル“パランセク(青い色)”**は民族楽器や舞踊などに取り組んでおり、韓国朝鮮人と日本人がともに活動しています。毎年7月第1日曜日に国際交流センターで開かれている**インターナショナルフェスティバル**や秋の**かわさき市民まつり**では、世界の国々の民俗芸能にふれることができます。



朝鮮伝統の琴 カガムの演奏

川崎市民俗芸能保存協会の登録団体は30余り、市内には保存協会所属以外の団体も多数あり、それぞれ熱心に取り組んでいます。お祭りなど発表の機会には、ぜひご家族連れで足を運んで応援してください。 ■問合せ: 教育委員会文化財課担当 Tel 044-200-3305

施設めぐり

市内公的施設および当財団が運営管理する施設のご紹介

川崎市伝統工芸館

小田急線向ヶ丘遊園駅下車徒歩20分又は、同駅下車北口から
小田急バス専修大学前行終点から徒歩5分 Tel. 044-900-1101

日本民家園の券売所「西門」も兼ねている伝統工芸館は、日本古来の伝統工芸である天然藍による染色技術を市民の方々に身近に親しんでいただくために、昭和58年に開館されました。ここでは、藍染の実習指導や講座の開催、ミニ展示等を行っています。祖先が歩んだ素朴な手仕事の渋さやその当時の文化的遺産を学びながら実際に藍染を体験し、あなたの手作りを楽しむことができます。



伝統工芸館(日本民家園西門)

★★★「藍染体験」を楽しんでみませんか★★★

工芸館でも模様づけ材料はありますし、模様を出す方法などの説明もしています。ハンカチを染める場合、模様を考える時間にもよりますが、1時間から1時間30分くらいでできます。また、事前に自分で模様づけした布を持参すれば、40分位で染めることができます。一度洗濯した布の方が染具合がよいです。

藍染体験 ①模様つけ→②染色→③空気にさらし酸化→②③を繰り返す→④洗う→⑤脱水

- <入館料> ・無料(日本民家園への入園は、入園料が必要です。)
- <開館時間> ・9:30~17:00(11月~2月は、~16:30まで。)
- <休館日> ・月曜日(祝日の場合は開園)祝日の翌日(土・日曜日の場合は開園)
- <藍染め体験> ・受付9:30~11:00、13:00~閉館2時間30分前
- <藍染め料金> ・ハンカチ染600円、バンダナ染め800円など



藍染めの実演

宮前市民館菅生分館

東急田園都市線宮前平駅・溝の口駅、JR南武線武蔵溝ノ口駅、
小田急線登戸駅・向ヶ丘遊園駅からバス「蔵敷」下車徒歩0~3分
Tel. 044-977-4781

菅生分館は、地域の学び舎として、昭和62(1987)年4月にオープンした社会教育施設です。昨年、開館から25周年を迎えました。家庭・地域教育学級や市民自主学級、市民自主企画事業、シニアの社会参加支援事業など、さまざまな主催事業を開催しているほか、学習室、集会室、和室、児童室、談話室を備え、地域のみなさまにご利用いただいています。児童室には、ウッドデッキのテラスがあって、天気の良い暖かい日には、親子で利用できます。



25周年を祝うつどいの記念講演会

★★★菅生分館まつり開催★★★(6月1日(土)・2日(日))

今年は、リニア新幹線についての講演会やオペラ「魔笛」ハイライトのコンサートなどを予定しています。また、「学びのサロン」や「ミルク&カフェ」、「おしゃべりサロン」など気軽に楽しめる事業もありますので、ぜひ一度、菅生分館に遊びにいらしてください。



菅生分館

川崎市青少年の家

東急田園都市線宮崎台駅下車徒歩12分 Tel. 044-888-3588
宮前平駅・宮崎台駅・向ヶ丘遊園駅からバス便あり

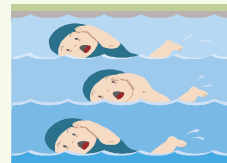
~青少年の家を利用しませんか~



川崎市青少年の家は、団体で宿泊をしながら研修等を行い、社会性を身につけて身心とともに健全な青少年の育成を図ることを目的とする施設です。勉強会や社員研修、サークルの練習等、子どもから大人の方まで幅広くご利用いただけます。また、子育て中のお母さんと子どもたちの仲間づくりのための「よちよち歩きの子あつまれ」、小中学生を対象にした「こどもエコチャレンジクラブ」や「放課後おもしろクラブ」、青年教室「川崎市青少年の家ユースワーカーズ倶楽部」、プール開放、シニア卓球教室等、様々な事業に取り組んでいます。

《プール開放》

- <対象> ・高津区・宮前区の小学生(1~3年生は保護者同伴)
- <日時> ・8/6(火)~8/8(木)、8/20(火)~8/22(木) いずれも13:15~15:00
- <定員> ・入場は100人まで
- <申込> ・事前登録制



6月中旬配布のチラシやHP掲載の「プール利用登録票」と保険料100円(6日間分)を7/1(月)~7/26(金)までに、青少年の家へ提出してください。

市内施設の各種取組と当財団が主催する講座等のご案内

情報ポケット

川崎看護専門学校

高津区久本1-4-1 JR南武線武蔵溝ノ口・東急田園都市線溝の口南口下車徒歩4分
TEL 044-856-9221 Eメール jimukyoku@kawasakikango.jp

川崎看護専門学校は准看護師が看護師になるための進学課程の学校です。当校は2年制で、1学年定員40名、全学生数80名の小さな学校です。平成7年の開校以来、現在までの卒業生は584名です。卒業後は看護師として8割が県下で、2割は県外の医療機関で働いています。看護師国家試験合格率は、常にトップクラスですが、学校理念には、「人間性豊かな看護師を目指す」など人間教育に力を注いでいます。就職率は100%。看護は、社会で求められる大切な職業です。



運営主体の(公財)川崎市看護師養成確保事業団では、学校運営のほか看護師の資質向上や養成のための諸事業を行っています。溝の口駅南口から4分、交通の便もよく、静かな環境の学び舎です。



—かながわ看護フェスティバル2013「一日看護体験」のお誘い—



- 日時：8月2日(金) 13:00~16:00 (受付:12:30)
- 対象：小・中・高校生、一般市民、准看護師免許所持者並びに予定者
- 内容：妊婦体験、老年体験、車いす体験、沐浴体験、おむつ交換など。
- 申込：電話・メールで。当日申し込みも可能!

陶芸教室

市内一充実した施設です!

平成25年度 第Ⅱ期 生涯学習プラザ

- 受講対象者は18歳以上の市内在住・在勤者
 - ※) 市外の方は定員に余裕があれば可能です。
 - ※) 電動ロクロ希望者は手びねり経験者に限ります。
- 費用には、受講料以外に教材費(粘土・釉薬・焼成)が含まれています。
- 講座は全12回、陶芸家の先生の学習計画にそってすすめます。
- 定員を超えた場合は、抽選になります。初めての方を優先しています。
- 詳細の案内チラシは、各区の区役所・市民館・図書館の情報コーナー等に置いています。
- 申込み締切：7月13日(土)です。(必着) ※往復ハガキで申し込みください。

初めての方でも大歓迎!

受講生募集



■問合せ
川崎市生涯学習財団
事業推進室陶芸担当
中原区今井南町514-1
TEL 044-733-5893
Eメール academy4@kpal.or.jp

コース	水曜手びねり	水曜電動ロクロ	土曜手びねり	土曜電動ロクロ
期間	8月21日~11月13日		8月17日~11月23日	
時間	9:30~12:30	13:30~16:30	9:30~12:30	13:30~16:30
定員	15名	10名	15名	10名
費用	31,500円	37,500円	31,500円	37,500円
講師	陶芸家 村主 武先生		陶芸家 徳丸 鏡子先生	



電動ロクロ



陶芸窯



手びねり

あ と が き

新緑の香り漂う4月5日、「平成25年度かわさき市民アカデミー開講式」が、開催されました。開講式は、140名を超える受講生の熱気あふれる会場で、粛々に行われました。受講生が、各講座に期待を膨らませながら選択し、受講する意思と実行力に、改めて「生涯学習」の本質を垣間見た思いです。生涯学習活動を広報する立場として、新年度、新たな気持ちで「かわさき市民」へ『生涯学習情報』を提供してまいりたいと考えています。また、「Stage Up・かわさきの生涯学習情報」が市民から親しまれ、活用されるよう常念必現の気持ちを忘れずに、努めていきたいと思ひます。

※Stage Up・かわさきの生涯学習情報に関して、ご感想やご意見がございましたら担当までお寄せください。

放送大学平成25年度10月入学生募集

(教養学部・大学院文化科学研究科修士課程)
 応募期間 平成25年6月1日(土)～平成25年8月31日(土)
 インターネット出願は平成25年6月1日(土)～

**放送大学は、
1科目から学べる、
通信制の大学です。**

- テレビやラジオで、マイペースに授業が受けられます。
- お近くの学習センターが学びをサポートします。
- 放送大学「エキスパート」なら、興味のあるテーマを体系的に学べます。



〒261-8586 千葉県美浜区若葉2-11 TEL 043-276-5111(総合受付)

詳しくは、電話・FAX・HPで
募集要項(無料)をご請求ください。

0120-864-600
www.ouj.ac.jp

検索エンジン(yahoo! JAPAN・Google 等)で、「放送大学」とご入力の際は、ご覧ください。



**神奈川学習センター
大学説明会&入学相談会のご案内**

住所：横浜市南区大岡2-31-1
 TEL：045-710-1910
 最寄駅：横浜市営地下鉄「弘明寺」徒歩5分、
 京急「弘明寺」徒歩12分

◇公開講演会 ①～③13:00～14:30 ④8/18は下記のとおり
 (各日とも定員180名※要予約)

- ① 7/13(土) 「酒と食と発酵文化」
- ② 7/21(日) 「みなとヨコハマと市民生活」
- ③ 8/10(土) 「企業と社会の人材戦略」
- ④ 8/18(日)
 13:00～14:30 「臨床心理学～こころの問題を考える」
 14:30～15:00 「認定心理士の資格」

◇大学説明・施設見学・入学相談
 14:50～16:40 ただし、8/18(日)は15:15～17:00

◆入学相談会(学生種・科目の選び方、出願票記入等々)
 各日とも10:00～12:00、14:00～17:00
 8/20(火)～31(土) ※8/26(月)は休館のため除く
 ◎入学相談会は事前予約制です、お電話でご予約ください。

**東京渋谷学習センター
大学説明会&入学相談会のご案内**

住所：渋谷区道玄坂1-10-7
 TEL：03-5428-3011
 最寄駅：渋谷(JR、東京メトロ、東急、京王) 5～10分程度

◇大学説明会 13:30～14:00 15:00～15:30 【予約不要】

◇入学相談会 10:00～16:00 ※要予約
 6月30日(日)、7月7日(日)、7月14日(日)、
 8月11日(日)、8月17日(土)
 会場：東急プラザ8階 AP渋谷

◆入学相談会
 8月20日(火)～31日(土) 但し8月26(月)を除く
 各日とも 10:00～16:00 ※要予約
 会場：東京渋谷学習センター講義室他
 詳しくは各学習センターにお問い合わせください。

**「やってみたい」がいっぱいある場所
川崎市子ども夢パーク 10周年!!**

川崎市子ども夢パークは、『川崎市子どもの権利に関する条例』を形にするために2003年7月23日にオープンし、今年10周年を迎えました。
 いままでも これからも 子どもたちの“やってみたい”を応援していきます!!



**夢まつり2013 祝10周年
～水遊びスペシャル～**
 日時：7月21日(日)
 11:00～16:00 雨天決行
 ビッグウォータースライダーやドラム缶風呂など、プレーパークで思いっきり水あそびをしよう!着替えを忘れずに!